



「入れて♡」「だめよ！」

2歳児クラスのこあら組の子も、3歳のお誕生日を迎える頃になると気の合う友達が出来、誘い合って仲良く遊ぶ姿が見られるようになります。語彙数も目覚ましく増え、言葉のやり取りを楽しみながら遊んでいます。この日は仲良しのA君とO君が、フープのトンネルを自分たちでお家に見立てて遊び始めました。側で楽しい様子を見ていたT君が、「入れて♡」と近づくと、すぐに「だめよ！」の返事が・・・今までは、「入れて！」「いいよー！」が決まり文句でしたが、この日は違いました。A君とO君は、仲良しの友達との二人での遊びをT君に邪魔してほしくなかったようです。



「入れて♪」



「だめよ！」

「ピンポーン！入っていいですか～！」



「いいよ～！」

♡ 仲間に入れて欲しい子の気持ちも、せっかくの仲良し同士の遊びを邪魔されたくない子の気持ちも十分に理解できます。そこで、双方がより楽しめるようにしてあげたいと思い、側にあったワミー(知育玩具)をフープに取り付けて、「ピンポーン！入っていいですか～！」と保育者が声を掛けてみました。フープの家の中の二人は顔を見合わせて「いいよー！」と笑っています。T君はさっそく仲間に入り、一緒に遊び始めました。その様子を見ていたYちゃんが「先生！ここ付けて！」とワミーをつなげたチェーンのようなものを差し出しました。取り付けてあげると「ここ、お部屋だよ！」と喜んでいました。友達を誘って「いらっしやいませ！」と遊びが発展していきました。会話も弾んで、皆、とても満足そうな笑顔で遊んでいます。



「ねえ先生！
ここ付けて！」



「みんなで遊ぼう!!」

「こっちもお部屋だよ！」

♡ 子どもは遊びの天才です。遊びながら生活習慣や友達との関わり方を身に付けていきます。時には自分の思い通りにいかずにかんしゃくを起こしたり、友達とぶつかり合ったりもします。子ども同士のトラブルに対して私たち保育者は、双方の思いを汲み取りながら、双方が納得して、子どもの遊びがより楽しいものになることを願って対処法を探ります。ただ保育者が「T君が悲しそうだね。入れてあげようか？」と言っても、仲良く遊びを楽しみたい2人には納得できないだろうと思い、今回は一緒に遊び出せるようにと、入口にチャイムのようにワミーを取り付けてあげて、T君と一緒に「ピンポーン！入っていいですか～！」と声を掛けてみました。すると、顔を見合わせたO君とA君はすぐに「いいよー！」と答えてくれました。そして、遊びながら会話も弾んで、どんどん遊びが発展していきました。

色々なことを子ども達なりに感じて考えて、お友達と話し合ったり工夫して、色々なことを試してみながら遊んでいます。遊びの中で、感じる心や想像力や考える力が育っていきます。これからも子どもの気付きや想像力など、子ども達一人一人の思いを汲み取りながら友達との関わりを深め、色々な経験や遊びを広げてあげられたらいいなと思っています。私たちは、子ども達のコミュニケーション能力の向上を願っています。